

第62回 長野県四地区対抗柔道大会要項

1. 主催 長野県柔道連盟
2. 共催 公益財団法人長野県体育協会・財団法人岡谷市体育協会
3. 主管 南信柔道連盟
4. 後援 長野県・長野県教育委員会・岡谷市・岡谷市教育委員会・(社)長野県柔道整復師会
長野県武道連絡協議会・信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・長野朝日放送株式会社
(株)長野日報社・市民新聞グループ(7紙)
5. 日時 平成24年9月30日(日)午前10時開始
6. 会場 岡谷市民総合体育館
7. 競技種別 一般男子の部・一般女子の部
8. チーム編成 (1)一般男子の部...監督1名、コーチ1名、選手は四段以上8名、参段10名、弐段以下10名の合計30名とする。(段位を厳守)
(2)一般女子の部...監督1名、コーチ1名、選手は10名の合計12名とする。
9. 出場資格 (1)全日本柔道連盟に登録したものであること。
(2)出場地区に居住しているか勤務している者、または通学している者であること。
(県外の大学・専門学校に在学している者の出場は認めない。)
(3)警察官、刑務官は1チーム5名以内、出場者は3名以内とし、出身高校の所在地からも出場できる。
(4)女子は中学生以上とする。
10. 試合方法 (1)一般男子の部・一般女子の部ともに紅白点取り試合方法による。
(2)トーナメント方式により優勝を決定する。
(3)一般男子の部は出場登録されている選手のうち、15名の選手で試合を行う。
弐段以下の部5名、参段の部6名、四段以上の部4名とする。
(各段位で欠員が生じた場合は1つ下位の段位者を出場させることができ、出場順位は各段低い者から出場する。)
(4)一般女子の部は出場登録されている選手のうち、7名の選手で試合を行う。
(出場順位は体重の軽いものから配列する。)
(5)一般男子の部・一般女子の部ともに試合ごとオーダーの変更を認める。
(6)勝敗は勝率高点方により決定し、同点の場合は1回の代表戦を行い勝敗を決定する。
(ゴールデンスコアによる延長戦を行わない。)
(7)代表戦は、当該チームの監督が指名した選手が出場する。
11. 審判規定 (1)国際柔道連盟試合審判規程により行う。
(2)試合時間は4分とする。
(3)「優勢勝ち」の判定基準
「有効」又は「指導2」以上とし、得点差がない場合は「引き分け」とする。
(4)選手登録者以外は出場できない。
(5)詳細については、審判監督会議の申し合わせによる。

12. 脳震盪対応について

20歳未満の選手については、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

13. 組み合わせ 試合当日・・・午前9時20分より会場で各地区代表者により抽選を行い決定する。

14. 審判会議 試合当日・・・午前9時30分より会場で行う。

15. 監督会議 試合当日・・・午前9時30分より会場で行う。

16. 表彰
- (1) 一般男子の部・一般女子の部ともに優勝、準優勝のチームを表彰する。
 - (2) 優勝チームには、一般男子の部は優勝旗、一般女子の部は優勝カップを贈る。
 - (3) 10年出場選手は開会式で表彰する。

17. 申込み 所定の用紙に必要事項を記入し、9月1日(土)までに南信柔道連盟事務局へ申し込む。

〒392-0026

長野県諏訪市大手 2-15-1 武井 弘美 宛

TEL/FAX 0266-52-1183 携帯電話 090-8328-0001

18. その他
- (1) 試合中の負傷等の事故が生じた場合は、主催者が応急処置のみを行い、その他一切の責任を負わない。
 - (2) 参加団体はスポーツ傷害保険等に必ず加入すること。
 - (3) 10年出場選手表彰の該当者は大会申込と同時に提出すること。